

企業理念

基本理念

東邦ガスは、グループ各社とともに、
人々との信頼のきずなを大切にし、
うるおいと感動のあるくらしの創造と魅力にあふれ、
いきいきとした社会の実現に寄与します。

経営方針

- ◆ 発想・行動の原点を、お客さまにおきます。
- ◆ 先見性と技術力で、自ら市場を創造します。
- ◆ 意欲と能力の発揮を重視し、ひとを育てます。
- ◆ 機動的で、活気にあふれた組織をめざします。
- ◆ 広い視野で、事業分野の拡大に努めます。

行動基準

- ◆ 変革への挑戦…………… 求め、そして創る
- ◆ 時代をよむ感性…………… 磨き、そして活かす
- ◆ 誇りうる専門性…………… 高め、そして拡げる
- ◆ 意欲を生む明るさ…………… 語り、そして歡ぶ
- ◆ 信頼を育む誠意…………… 思い、そして動く

今日に引き継がれる岡本精神



会社の目的は、需要家への
サービスを通じて、社会へ貢献すること

初代社長 岡本 桜
(在任期間:1922-1935年)

初代社長の岡本桜は、「お客さま、株主、従業員は三位一体であり、これら企業をめぐる利害者の共存共栄が必要不可欠である」との考えのもと、その実践に努めるとともに、この考え方を社会公共面における奉仕(サービス)論にまで広げ、地域社会の福祉の増進、地域社会との一体化に取り組みました。それが形となって表れたのが、東山植物園の寄付です。



開園当時の東山植物園

1932年、当社は岡本の発案により名古屋市に植物園の建設費として寄付を行い、その寄付金をもとに、名古屋市の東山植物園が5年後の1937年に完成しました。

岡本は、社会的公器としての企業のあり方を考え続けた経営者であり、その精神は当社のDNAの一部として、現在も受け継がれています。

Contents

東邦ガスグループの価値創造 01

- 01 企業理念
- 03 東邦ガスグループのあゆみ
- 05 トップメッセージ
- 09 財務担当役員メッセージ
- 11 価値創造プロセス
- 13 マテリアリティ
- 15 東邦ガスグループビジョン
- 17 中期経営計画2022-2025
- 23 2050年 カーボンニュートラルへの挑戦
- 25 カーボンニュートラルへの取り組み

ESGへの取り組み 31

- | | |
|-------|--|
| 環境 | <ul style="list-style-type: none"> 32 東邦ガスグループ サステナビリティ方針 33 TCFD提言に基づく情報開示 35 環境マネジメント 39 地球温暖化対策 41 資源循環 43 生物多様性保全 |
| 社会 | <ul style="list-style-type: none"> 45 地域社会への貢献 49 人事諸施策の推進 53 労働安全衛生への取り組み 55 人権尊重への取り組み |
| ガバナンス | <ul style="list-style-type: none"> 57 コーポレート・ガバナンス 60 株主・投資家とのコミュニケーション 61 内部統制 63 コンプライアンス 65 取締役および監査役 67 社外取締役メッセージ |

事業報告 71

- 71 都市ガス事業
- 77 技術開発・商品開発
- 79 LPG・その他エネルギー事業
- 80 電気事業
- 81 事業開発

外部からの意見・評価 84

データセクション 85

- 85 財務・非財務ハイライト
- 87 主要連結財務データ
- 89 連結貸借対照表
- 90 連結損益計算書／連結包括利益計算書
- 91 連結キャッシュ・フロー計算書
- 92 株式情報
- 93 会社概要

表紙のデザインについて

「統合レポート2023」の表紙は、東邦フラワー(株)の従業員がデザインしました。東邦ガスグループ「中期経営計画2022-2025」の4つのテーマを表現した4本の線が右肩上がりになまぐさ伸び、新たな挑戦をしていくイメージを表現しています。東邦フラワー(株)は、2019年10月に設立された東邦ガスグループの企業であり、障がい者雇用の促進と就労の定着を図っています。

